

新米教師1年目の振り返り

鷹栖町立鷹栖中学校
教諭 上杉 明広

中学校教諭として一年目を担当させて頂いた教科指導について【a:教科指導の概要】【b:反省】【c:次年度へ向けて】【d:もう一度1年目ができるなら ～これから新米教師になれるかたへ～】の4つにまとめました。

【a:教科指導の概要】

■ 2学年3クラスの保健体育科を担当

■ 体育分野の領域

- ・ 体づくり運動（新体力テスト含む）
- ・ 陸上競技（短距離走、リレー、長距離走、ハードル走）
- ・ ソフトボール
- ・ 剣道
- ・ バレーボール
- ・ 器械運動（マット運動、跳び箱運動）
- ・ スキー
- ・ ダンス

■ 保険分野

- ・ 健康と環境

【b:反省】

- 2学期に入ってから、授業の始まりと終わりの挨拶の「気をつけ」の姿勢を徹底して指導することにより、授業全体にも引き締めが見られた。
- 2人の先輩保体教員の授業を参観し、自分の授業に活かせる部分はスピーディーに取り入れることができた。
- × これまでに保健体育科の教科指導の経験がなく、普段の業務の大部分を授業の準備に割くこととなった。
- × 剣道など実際に自分で取組んだことのない運動種目もあったため自信のない指導になってしまったこともあった。
- × ペア学習や、グループ学習など協同学習の機会の設定の仕方が行き当たりばったりで一年を通した見通しを持つことができていなかった。
- × 効果的な見本や演示の提示の仕方にかけていた。
- × 授業内容の表記、授業の狙いの書き込みなどホワイトボードの活用が不十分であった。
- × 領域を通した4観点のねらいが明確になっていないことが多かった。
- × 各領域への時間の配分計画が甘く、2学期後半から3学期にかけて実施した単元の時数を圧迫してしまった。
- × 1時間1時間のねらいの設定に甘さがあり、1時間でなにを身につけさせたいのかぼやけることが多かった。

- ×評価基準が不明確であり、よって効果的な形成的評価を行うことができていなかった。
- ×生徒の運動後の動線の取り方など、安全への配慮とその対策に不十分さがあった。
- ×「心と体は一体である」ということを保体の授業の中で伝えたかったのだが、それを教えるための手立てを講じられていなかった。

【c:次年度へ向けて】

- ・昨年度の教育課程計画における領域の配列と時数の配分については、実態にそぐわない部分もあった。1年を見通し、各領域の授業数を確定し単元計画につなげる。
- ・学習指導要領の各領域の目標を深く理解することにつとめ、「何を教えるのか」ということを自らの中で明確にした上で授業の計画を立てる。
- ・単元計画に4観点それぞれの目標、目標に対してA～C評価の具体例を必ず盛り込む。
- ・4観点の評価のタイミングを計画する。
- ・各領域において映像、写真資料、演示などを用いることにより必ず見本を見せる。
- ・1時間1時間必ず「本日の授業のねらい」を明示する。

【d:もう一度1年目ができるなら ～これから新米教師になられるかたへ～】

- ・学習指導要領解説保健体育編をすみずみまで勉強する。
 - 教育公務員として、法的意味を持った指導内容をきちんと押さえておくことで、いくばくかの自信を持って教科指導にあたれることと思います。
- ・学習規律について、学校の生徒指導方針をふまえた上で自分の考えを整理し、生徒の指導にあたる。
 - 学習規律を徹底して指導すると、生徒が安心して授業に参加できる環境を整えることにつながります。
- ・保健体育教育の意義を自分の中で見いだす。
 - 「自分は保体を通して生徒に何を伝えたいのか。」学習指導要領に書かれていることにプラス@されることで、魅力的な授業にすることができると考えます。